2026年10月31日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

岐阜県信用農業協同組合連合会は、協同組合組織として会員ＪＡとの密接な連携のもと、効率的な組織機能を発揮することにより、金融事業を通して農業の振興および農家経済の安定・向上を図るとともに、地域社会の発展に貢献することを経営理念として掲げています。

当会では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組を実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通ＫＰＩ」）も同時に公表いたします。

岐阜県信用農業協同組合連合会

Ⅰ.取組状況

1　お客さまへの最適な商品提供

【原則２本文および（注）、原則３（注）原則６本文および（注２、３、６、７）補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当会は、金融商品の組成に携わっておりませんが、本商品の組成を担う投資運用会社は、プロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを確認したうえで選定いたします。
- 会員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組みとして、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始しております。
- お客さま本位の商品選定を実現するため、ファンド選定会議を開催し、農林中央金庫が示す系統投信窓販に係る全国選定商品の取扱いについて、ファンドの特色・リスク内容等を検討しております。
- いろいろな「投資に関する好み」に合った商品を揃えつつ、商品数を絞ることで、お客さまにとっての選びやすさを重視した「ＪＡバンクセレクトファンド」をご用意しております。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2026年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：1）	4 （前年度末：4）
株式型	5 （前年度末：4）	10 （前年度末：5）
REIT型	1 （前年度末：1）	2 （前年度末：2）
バランス型	9 （前年度末：7）	

※　現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

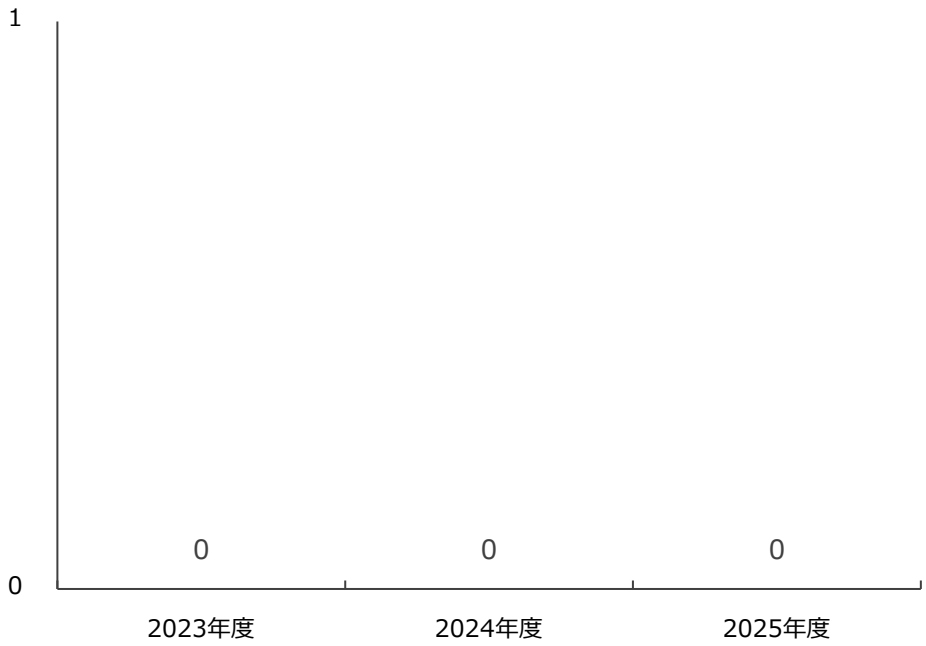
＜商品選定の考え方＞

1．将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること
2．過去の運用実績が相対的に良好であること
3．過去の運用成績の再現性が認められること
4．手数料が良心的な水準であること
5．これからの将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向け、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

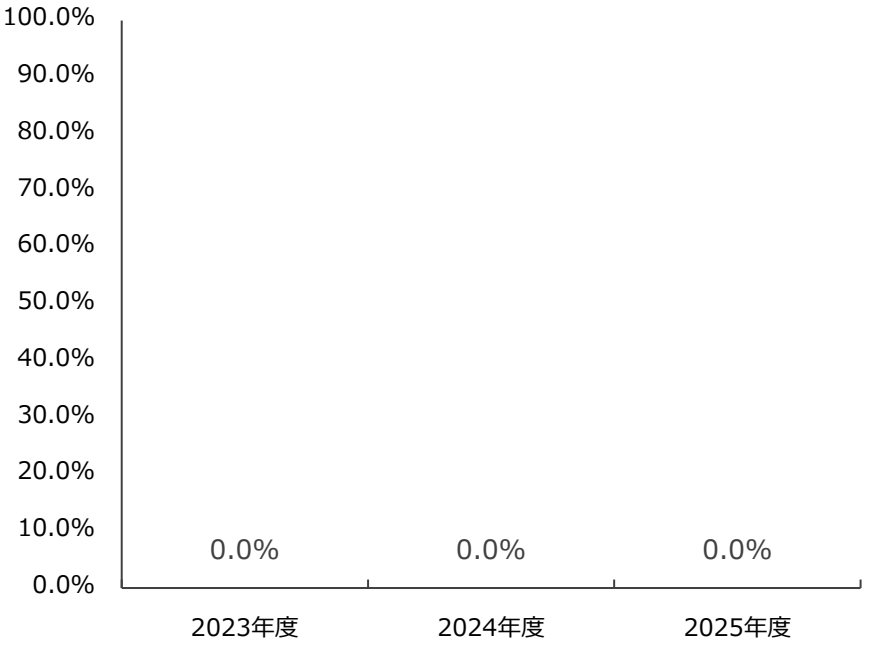
2　お客さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および（注）、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～5）】

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、適切な情報提供を行います。
- なお、2023年度、2024年度、2025年度ともに「投信つみたて」を利用されるお客さまはいませんでした。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞

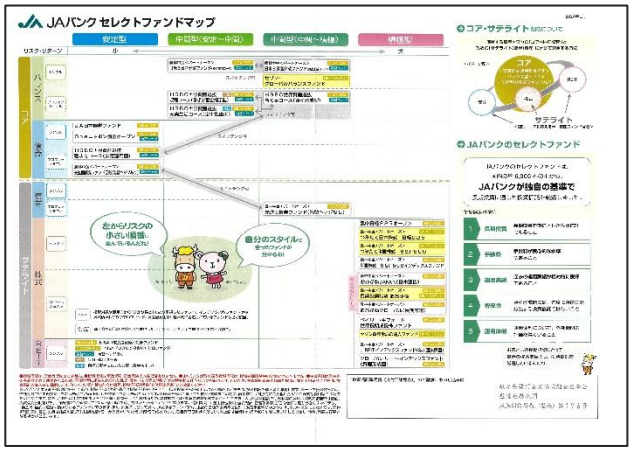


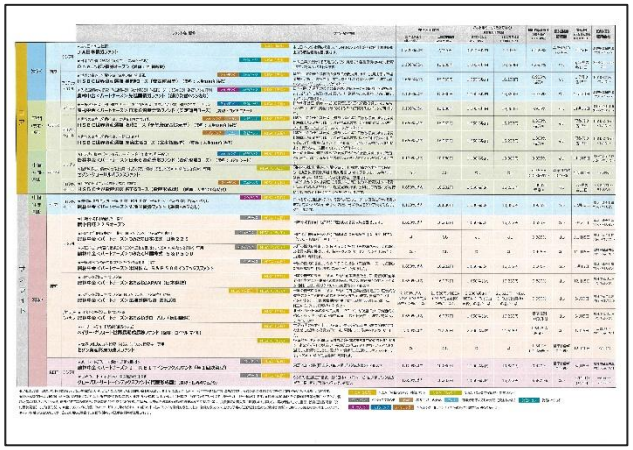
Ⅰ.取組状況

2　お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

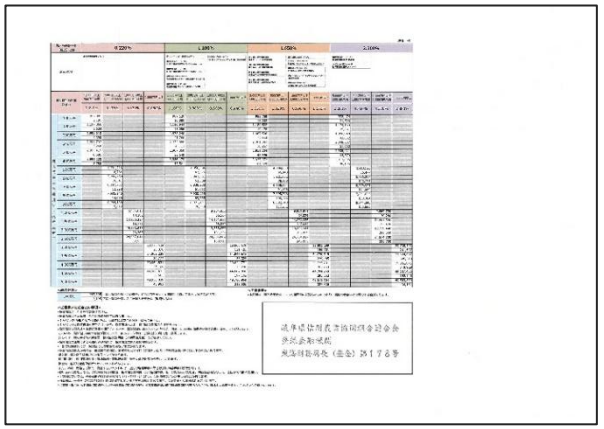
- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、ＪＡバンクセレクトファンドマップ、購入時手数料早見表等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

＜ＪＡバンクセレクトファンドマップ＞

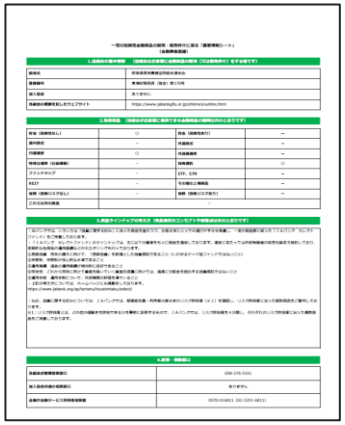




＜購入時手数料早見表＞



＜重要情報シート＞



3　利益相反の適切な管理【原則３本文および（注）】

- 「利益相反管理方針」に基づき、利益相反の恐れのある取引を類型化したうえで特定し、統括部署にて管理を実施するとともに、その有効性を定期的に適切に検証するなど、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないよう、適切に管理しております。

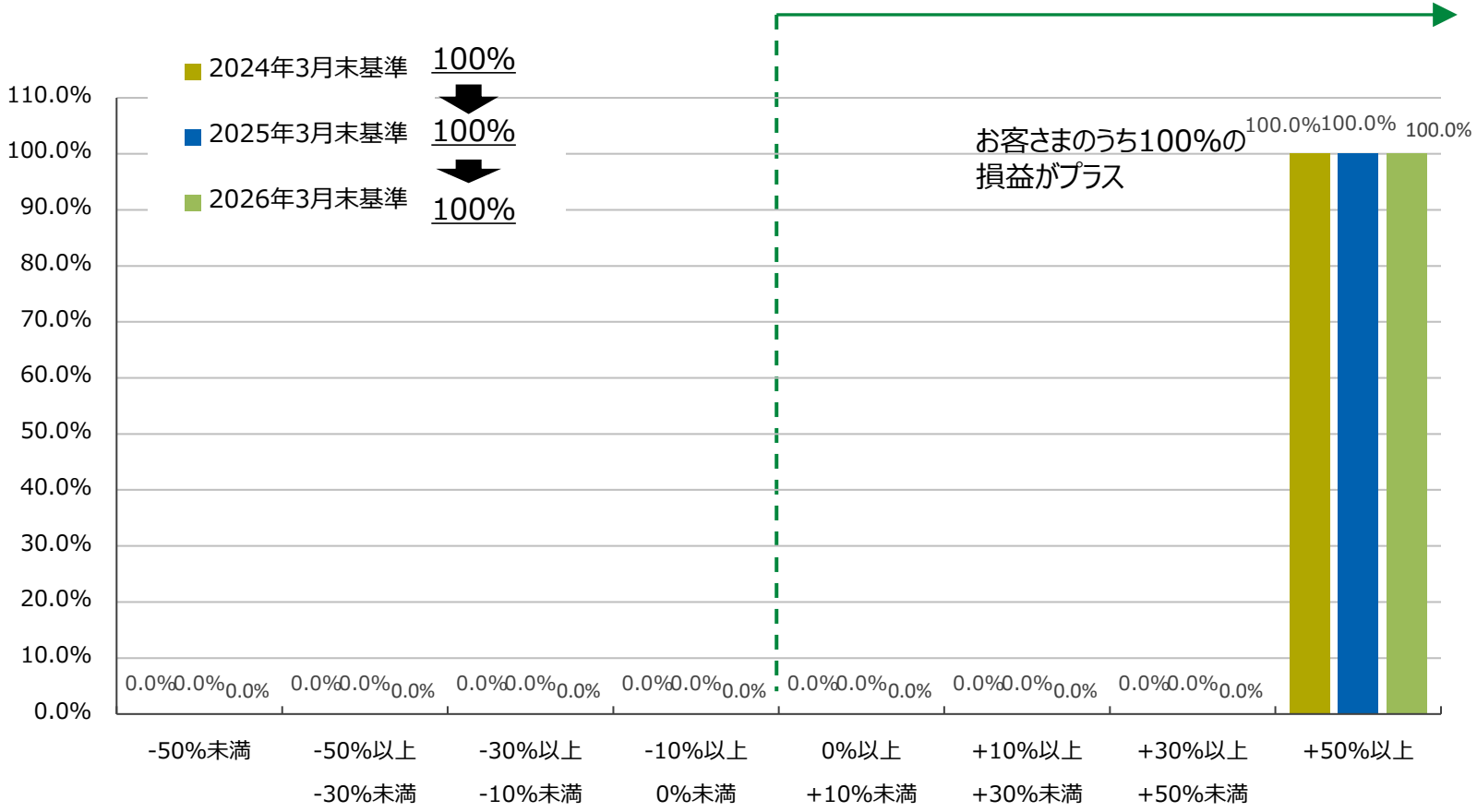
4　お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築【原則2本文および（注）、原則6（注5）】【原則７本文および（注）】

- お客さま本位の業務運営を一段と高められるよう、職員への研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成しております。
- ライフプランに対する資産形成・資産運用ニーズに応じたご提案を行い、組合員・利用者の豊かなくらしの実現を目指すＪＡの取組を強化するため、資産形成サポートチームを設置し、ＪＡを支援する態勢を構築しております。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

1　運用損益別顧客比率

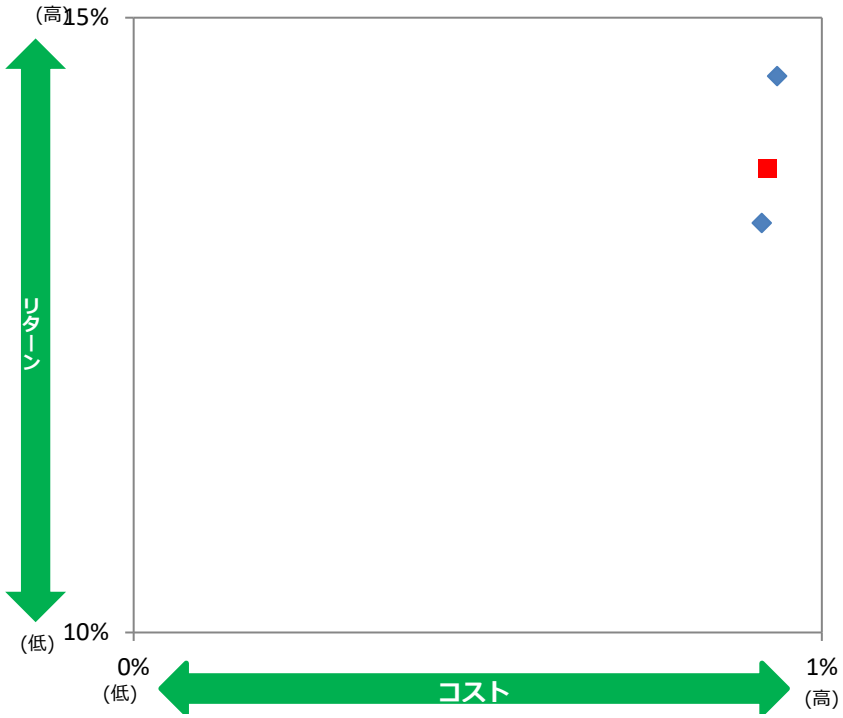
- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資等をご提案してきたことにより、2026年3月末時点では全体の100%のお客さまの損益がプラスとなりました。なお、2024年3月末時点で契約されているお客様さま1名、2025年3月末時点で契約されているお客様さま1名、2026年3月末時点で契約されているお客様さま1名での値を示しております。



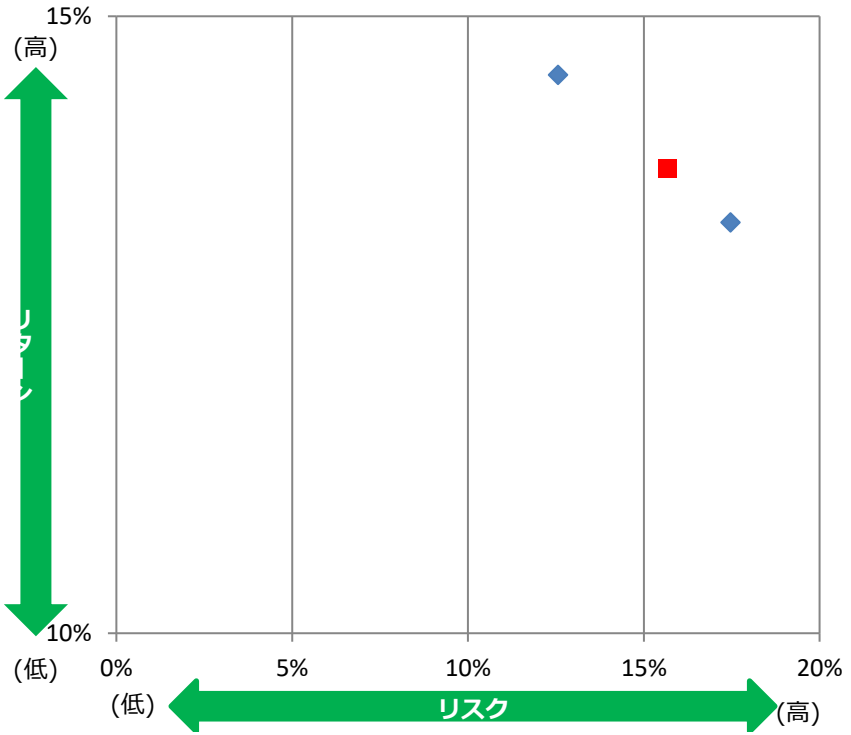
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）　（2026年３月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2026年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.92%、平均リスク15.67%に対して、平均リターンは13.77%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2026年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.33%	17.47%	0.91%
2	ＪＡ　ＴＯＰＩＸオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.52%	12.57%	0.94%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		13.77%	15.67%	0.92%

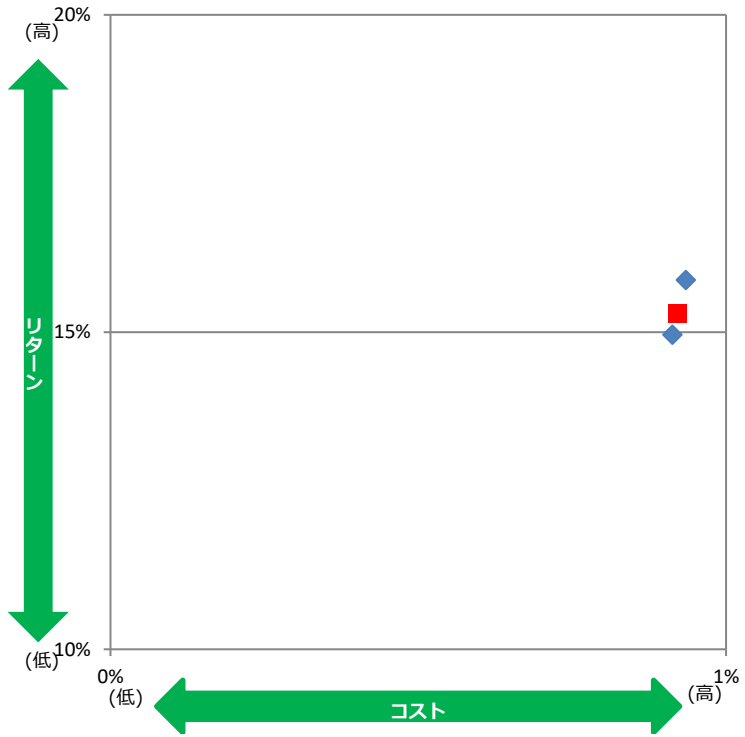
※ 2026年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は2本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

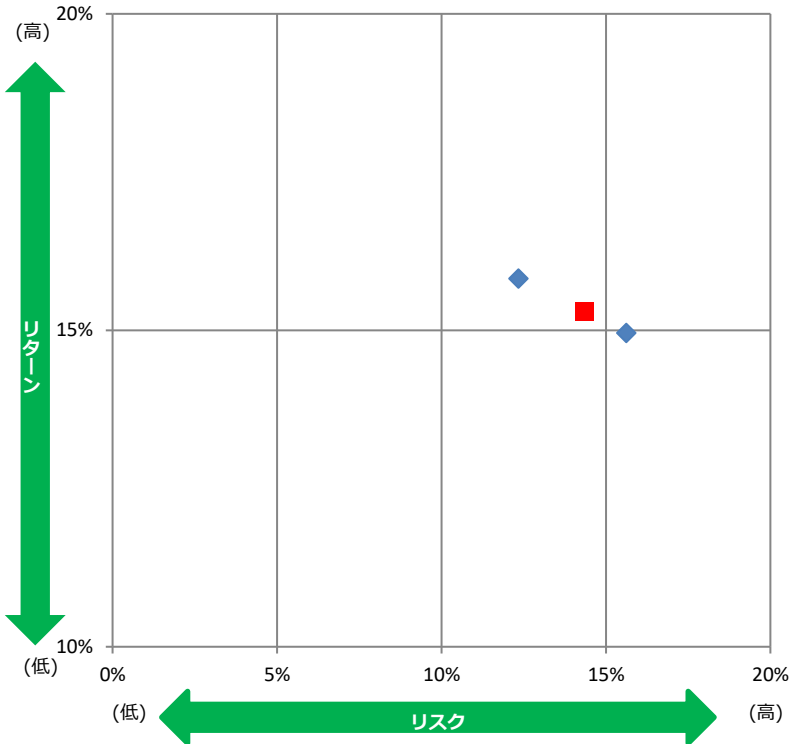
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2025年３月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.92%、平均リスク14.35%に対して、平均リターンは15.29%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2025年３月末）

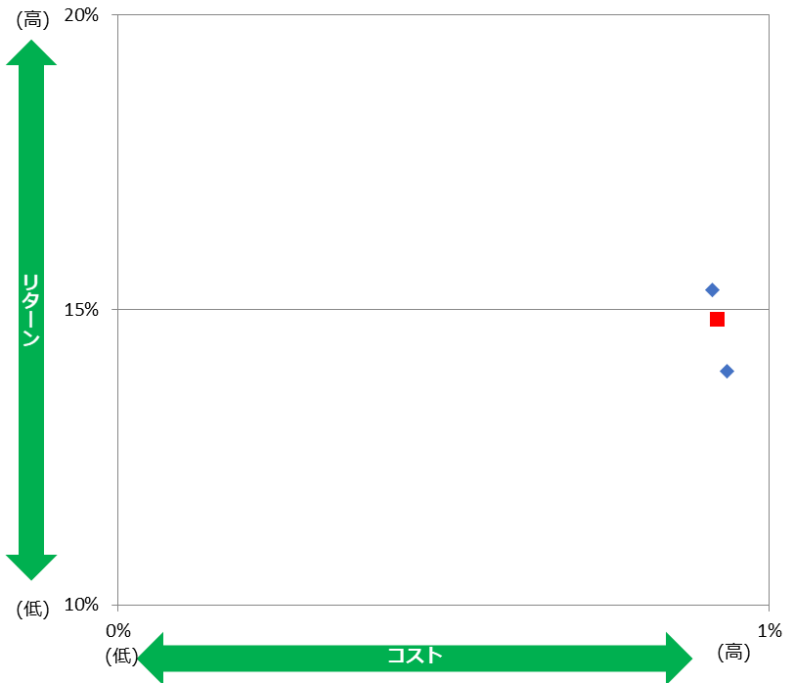
	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
2	ＪＡ　ＴＯＰＩＸオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.82%	12.33%	0.94%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		15.29%	14.35%	0.92%

※ 2025年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は2本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

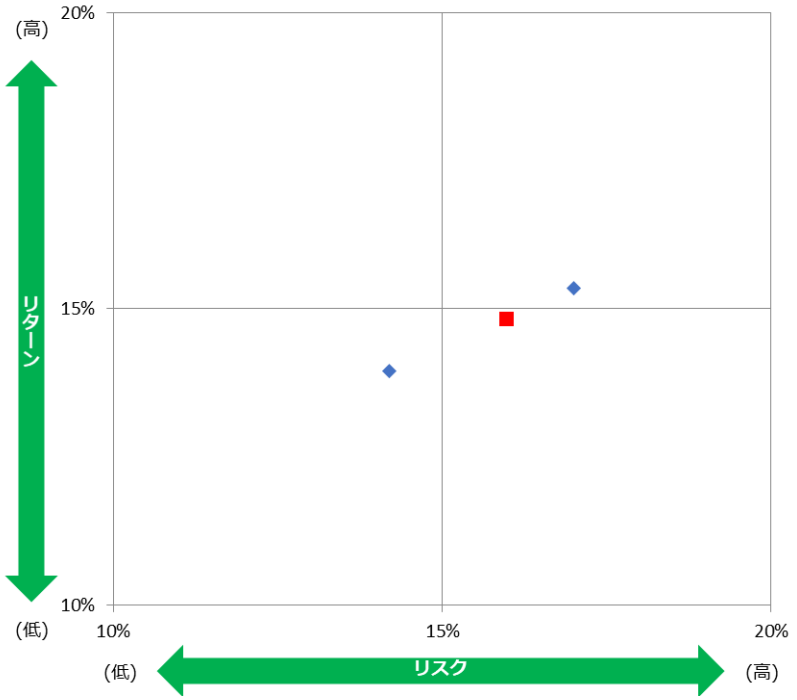
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）　（2024年３月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.92%、平均リスク15.98%に対して、平均リターンは14.84%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2024年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.34%	17.00%	0.91%
2	ＪＡ　ＴＯＰＩＸオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.95%	14.20%	0.94%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		14.84%	15.98%	0.92%

※ 2024年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は2本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。